



事例

Miller Industries社はInfor Birstでデータのサイロ化を解消

Miller Industries社は、牽引・復旧装置の世界的リーダーです。1990年に創業し、米国テネシー州に本社を置く同社は、世界中に革新的で高品質な牽引・復旧装置を提供しています。Miller Industries社は、世界各国に製品を輸出し、米国に計4カ所、英国に1カ所、フランスに1カ所の製造施設を運営しています。各製造工場は、特定の製品、または装置によって異なるシャーシを後工程製品と統合したブランド製品を製造しています。Miller Industries社の製品は、Century®、Holmes®、Chevron®、Vulcan®、Boniface®、Jige®のブランドで販売されています。業界のリーダー企業である同社は、最長30フィートのキャリアーや、最大積載荷重40,000ポンドのデッキ、ブーム能力100トンの牽引・復旧装置を含む総合的で高品質な製品ラインを製造しています。Miller Industries社の製品は、同業界最大の流通ネットワークを通じて販売され、サービスを提供しています。同社についてさらに詳しい情報は、millerind.comをご覧ください。

Infor® BirstのネットワークBI（ビジネスインテリジェンス）を導入する以前は、財務や営業、製造などのプロセスを管理するために必要な情報が複数のシステムに分散して格納されており、技術担当者しかアクセスできない状況でした。

“毎朝、最新の情報を利用することができます。CEOを始めとするすべてのユーザーにとって一貫して正確な情報であり、各自の担当分野に関連した情報を確認できるように設計されています。Infor Birstがあれば、長い履歴のある情報にアクセスして分析し、どのような業務上の質問にも任意のデバイスから瞬時に答えを出すことができます”

WILLIAM G. MILLER II氏
Miller Industries社、社長兼共同CEO



本社
米国テネシー州ウールトワー

売上高
7億1200万米ドル

業界
産業用機械・装置製造

従業員数
1,240人

インフォア製品
Infor Birst®、Infor CloudSuite™
Automotive、Infor LN、
Infor d/EPM、Infor CloudSuite
Workforce Management (WFM)、
Infor CloudSuite HCM、Infor OS®
(Operating Service)、
CloudSuite Configure Price
Quote、Infor Factory Track®、
CloudSuite Expense Management

分散した分析チームが、ソースシステムから直接データを抽出していたことによって、共有できない情報が散在していました。さらに、管理者向けのレポートは手作業で作成されており、情報へのアクセスや整合性のない指標の調整に非常に多くの時間を要していました。こうした手動プロセスは、Miller Industries社の意思決定スピードを大幅に遅らせ、管理者チームの生産性を著しく損なう要因となっていました。

サイロを解消する

1998年以来、インフォアを利用してきたMiller Industries社は現在、Infor LNをエンタープライズ・リソース・プランニング（ERP）システムとして使用していますが、Infor CloudSuite Automotiveをはじめとするクラウドベースのアプリケーションへの移行を進めています（本事例を作成時点で2020年第1四半期を予定）。同社は、Birstの次世代クラウドBIプラットフォームがLNを含む幅広いデータソースと統合可能であり、すべてのInfor CloudSuiteのアナリティクス標準であることを知り、全社的なBI・アナリティクス標準としてBirstを導入しました。同社が目指したのは、信頼できる単一のデータソースから、より多くの知識を引き出すとともに、データへのモバイルアクセスを可能にし、情報の可視性を高めることで、管理者が日々の定型業務を管理しつつ、より迅速に優れた意思決定を行えるようにすることでした。Birstプラットフォームは、組織のあらゆるレベルの人々が、最新の傾向を分析し、ビジネスの推進要因を理解し、情報に基づく迅速な意思決定を行えるように支援します。

アジャイル開発

アジャイル開発のアプローチとバリューベースの設計手法を採用したMiller Industries社は、最初のダッシュボード群を3ヶ月以内で稼働させました。同社の財務部門とIT部門は、活動と成果を監視する上で最も重要なデータ要素を定義するために、各部門の管理者と協議しました。こうしたニーズ発見セッションで得られた情報を分析

“ Infor Birstを利用する前は、手作業で情報を取り出さなければならず、迅速なビジネスの意思決定が困難でした。情報を見つけた後は、レポートをダウンロードして分析しなければなりません。Birstに投資したことで、あらゆるビジネスの問題を解決する最も柔軟で信頼できるソリューションを手に入れることができました。”

WILLIAM G. MILLER II氏
Miller Industries社、社長兼共同CEO

ビジネス上の成果と効率化

80%

売上予算の作成時間の短縮

80%

手作業によるレポート作成依頼や業務関連の質問の減少

40%

期日超過の売掛金残高の減少

100枚

少数のダッシュボードでリプレースできたスプレッドシートの数

4

わずか3か月以内に導入したダッシュボードの数

して組み合わせた結果から、導入の第1フェーズを始めるにあたって最も重要な情報を提供するダッシュボード群が作成されました。

第1フェーズ（最初のスプリント）では、月間収益、売掛金残高、未確定発注を監視する3つのダッシュボードを作成しました。第2フェーズでは、在庫レベル、貸金および給与、粗利益、受注活動を監視する4つのダッシュボードを追加しました。引き続いて、財務活動、顧客プロファイルの詳細、製品タイプ別の売上履歴のダッシュボードを作成しました。その後、開発チームは、最初の2つのフェーズで公開したダッシュボードにさらに詳細な情報と機能を追加しました。何より重要なことは、Miller Industries社の経営幹部が目標として定めた機能と成果物を実現したダッシュボードを、すべて期限内に完了できたことです。

真実の唯一のバージョン

Miller Industries社は、非常に興味深いアプローチで組織全体にアナリティクスを導入しました。開発プロセスの初期段階に同社が決断したのは、全員が同じダッシュボード群を使って、同じ情報にアクセスできるようにすることでした。Miller Industries社の社長兼共同

CEOであるWilliam G. Miller II氏は、ダッシュボード開発の中心的役割を担うことで、彼のチームのニーズを満たすダッシュボードを作成するための反復作業に参加し、評価と助言を行いました。

その結果、今ではマネジメントチームの全員が、同じダッシュボード群に信頼を寄せて利用するようになりました。Infor Birstのパワフルなセキュリティモデルと動的なフィルタリング機能によって、担当者の役割に応じて許可された情報のみが表示されます。例えば、事業体や顧客、顧客タイプ、製品タイプ、営業担当者、部門によって情報はフィルタリングされ、保護されます。

このようなトップダウンのアプローチでアナリティクスに取り組む利点は、管理者層にいる全員が経営幹部とまったく同じ情報を確認して、経営幹部の主要業績評価指標（KPI）と合致できる点であり、組織内でインサイトが孤立することはなく、組織の整合性を保つ上での障壁を下げることができます。

計画策定、意思決定、顧客関係の改善

今では、管理者全員がリアルタイムなビジネス情報を容易に入手できるようになり、非常に多くの時間を付加価値の高いプロジェクトのために振り向けて、ビジネスを前進できるようになりました。管理作業のために増員する必要はありません。

ダッシュボード・フィルターを使えば、関心のある特定分野に絞って例外処理にのみ注力することができます。こうした詳細情報を得るためにデータを抽出して整形するために時間を無駄にする必要はありません。またMiller Industries社は、Birst Mobileを介してスマートフォンやタブレットにもInfor Birstダッシュボードを展開し、管理者がどこにいても情報を利用できるようにしました。

“ Infor Birstは、信じられないほどの速さと手際のよさで導入されました。習得しやすく、非常に短期間で成果を得ることができました”

SIAS REYNEKE氏
Miller Industries社CIO

さらに同社は、年間計画の立案プロセスを支援するためにもBirstを活用し始めました。マネジメントチームは、売上履歴を参照して、顧客別、製品タイプ別、期間別に売上情報を分析することができます。今では、関連性の高い詳細な情報を使って、今後の売上予測を迅速に作成することができます。過去の売上履歴をすばやくセグメント化して理解できるようになったことで、Birstを使用する以前の数年間よりも、売上予測にかかる時間を80%短縮することができました。

さらに同社は、Birstによって、時間のかかる手作業の情報依拠を約80%削減することができました。かつてはデータ構造を熟知していなければ手に入らなかったような情報に、今では管理者が容易に直接アクセスできます。また、正しい情報にアクセスしやすくなり、期日超過の売掛金残高を顧客別にさらに可視化し、それを管理者が利用できるようになるまでの時間を短縮したことによって、期日超過の売掛金残高を約40%減らすことができました。

顧客分析は、Miller Industries社にとって重要な使用事例の1つです。Miller Industries社CIOのSias Reyneke氏は、次のように述べています。「例えば、今なら顧客ダッシュボードがあります。営業担当者は、顧客と対面または電話で話をする際に、顧客に関するすべての重要なデータをダッシュボード上に表示することができます。営業担当者は、どのような未確定受注があり、どのような種類の製品が注文処理中で、どの製品が集荷待ちで、どの製品が請求済みかを確認することができます。」営業部門は、過去10年まで遡って顧客の履歴に瞬時にアクセスし、より優れた意思決定を行うことができます。「営業担当者が顧客との取引に必要なすべての情報は、すぐ手元にあります。これまでは、異なる部門やシステムにデータが分散していたため、こうした情報にアクセスすることは不可能でした。顧客との会議中にこうした疑問があったとしても、誰かの手を借りて手動でレポートを作成しなければなりませんでした」とReyneke氏は続けています。

Birstダッシュボードの第1フェーズでは、次のような使用事例も導入されました。

- 売掛金
- 売上請求書
- 購買オーダー情報
- カテゴリ別、施設別の在庫
- 過去10年間の製品別受注履歴
- 売上原価（製品別の収益性分析）
- 資金調達情報
- 毎週の就労可能時間、および工場での作業内容や製品別の作業時間などの労働情報

前述のすべての使用事例は、CEOと役員が企業全体の業績を監視するためだけでなく、特定の工場や地域、製品にドリルダウンして確認できるように開発されています。工場の管理者は、各々の工場の労働アナリティクスを確認し、地域別の担当営業は、担当地域の売上データを見ることができます。Miller Industries社の全員が、同じダッシュボードを共有していますが、その内容は担当者の責任範囲に100%限定してフィルタリングされます。

Miller Industries社は現在、同社の主要な販社の代表者たちと協力しながら、Birstダッシュボードを介した情報共有を試みており、将来的には最大100社の販社にソリューションを展開する予定です。販社は、販売履歴を確認し、自社の地域でどの製品が売れているのか、過去にどれだけ売り上げたのか、今どれだけ受注残があるのかといったインサイトを得られるようになります。そうなれば、これまでよりもはるかに多くの情報に基づいて、受注見込みを判断できるようになります。Birstが販社にとって有益なもう1つの利点は、期日超過の売掛金残高の処理です。販社の代表者は、Miller Industries社と同じように取引先を監視できるようになり、Miller Industries社との緊密な協力体制を維持し、回収プロセスを迅速化し、取引先の情報を手作業で照合する手間を最小化することができます。

今後の展望

Miller Industries社は、シャシーの統合プロセスを最適化するために、Infor LNやInfor CloudSuite Automotive、Infor CloudSuite Workforce Management、Infor OS (Operating Service)、Infor Data Lake、Infor Coleman® AI (人工知能)、およびInfor Birstなどで構成されるインフォアのテクノロジースタックを活用できると認識しています。シャシー関連のデータ管理、および後工程製品との統合は困難かもしれませんが、シャシーの到着と後工程の牽引・復旧装置の生産スケジュールを調整することは、高額な在庫を無駄にしないために極めて重要です。Birstダッシュボードを使ってシャシーの到着と後工程製品の完成を連携させることによって、Miller Industries社は2つを統合し、注文を完了して、最終製品を迅速に顧客に届けることができます。

将来的には、オンプレミスのデータベースに直接アクセスするのではなく、社内外のデータをInfor Data Lakeに取り込むことで、データ戦略を統合する計画です。同社は、Infor Coleman AIサービスを使って、このデータをマイニングし、シャシープログラムの将来の需要を予測したいと考えています。Colemanの分析結果は、Birstの自動ダッシュボード上で活用することが可能であり、現在の需要と予測される需要をリアルタイムに把握することができます。最終的には、現在の人事システムであるKronosをInfor CloudSuite HCMにリプレースし、Birstダッシュボードで人事および従業員データを扱えるように拡張することで、組織の基幹となる人事組織がより深いインサイトを得られるように支援する計画です。

“すべてのビジネス情報ニーズに応えられるように、ダッシュボードに投資しました。今では、ビジネスとその業績に関する質問の80%以上を、現在のダッシュボードで即座に答えることができます”

SIAS REYNEKE氏
Miller Industries社CIO

詳しくはこちら →

infor

インフォアは、業界特化型のビジネスアプリケーションをクラウドで提供しています。17,000人の社員が、170か国以上で65,000以上のお客様を支援しています。

Follow us:    

Copyright © 2021 Infor. All rights reserved. 本文に記載の文字商標および図形商標は、インフォアおよび/またはその関連会社ならびに子会社の商標および/または登録商標です。本文に記載のすべての他の商標は各所有者の所有物です。 www.infor.com.

東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル16階

INF-2285420-ja-JP-1021-1